第2回定例議会報告

金子卓

参院選 野党共闘 11選挙区で勝利

日本共産党は倍増 6議席

野党と市民の共闘が大きな成功 比例代表で党史上2番目の得票

７月１０日投開票でおこなわれた参議院選挙では、日本共産党と小林きょう子候補への、大きなご支援ありがとうございました。

日本共産党は参議院選挙で、安倍政権の暴走政治をストップさせるため、日本共産党の躍進、野党共闘の勝利という二つの目標をかかげ全力でがんばりました。

日本共産党は、比例代表で５議席、東京選挙区で１議席、合わせて６議席を獲得し、改選議席を倍増させました。比例代表では、躍進した３年前の前回参議院選挙と比べて８６万票ふやし、６０１万票を獲得しました。

常陸大宮市での共産党得票数は国政選挙で過去最多

常陸大宮市での比例代表の得票は１９６０・６１０（名字・名前だけの投票があり按分された）票（得票率９・５７％）となり、合併後の各種国政選挙で過去最多となりました。小林きょう子候補は１６５６票を獲得しました。ご支持・ご支援いただいたみなさんに心からお礼を申し上げます。

２０１４年の衆院選では１９２７票（得票率９・４２％）、２０１３年参院選では１３６７票（６・７１％）、２０１２年衆院選では１０９３票（４・６４％）でした。

公約実現に全力でがんばります

野党共闘は、最初の挑戦として大きな成功をおさめました。全国３２の１人区すべてで野党統一候補が実現し、１１選挙区で自民党候補に勝利しました。多くのところで、無党派層の６割、７割の得票を獲得し、野党共闘の効果が発揮されました。

３年前の参議院選挙では、全国３１の１人区のうち、野党が勝利したのは２選挙区だけでした。今回１１選挙区で野党統一候補が勝利したことは重要な成果です。

日本共産党は、他の野党のみなさん、市民のみなさんとも話し合い、野党共闘を、第二の段階、第三の段階に発展させるために力を尽くします。

選挙の結果、憲法改定をめざす勢力が、参議院で憲法改定を発議できる、３分の２の議席を占めました。しかし、国民は「憲法改定」を安倍政権に「白紙委任」したわけではありません。自民・公明などは、選挙中、「憲法改定問題」を隠し続けました。

どの世論調査でも、憲法９条をこわす憲法の改定には、国民の多数が反対しています。

日本共産党は、日本の宝・憲法９条を守り抜き、掲げた公約の実現へ全力でがんばります。

予算委員会、憲法審査会 日本共産党３人に

日本共産党は参院選で改選３議席を６議席へと倍増させ、非改選と合わせて１４議席に前進した結果、予算委員会や改憲との対決が焦点となる憲法審査会で党所属の委員が２人から３人になるなど合わせて８つの委員会・審査会で委員数を増やしました。

この間委員を配置できなかった懲罰委員会を含め、１７の常任委員会すべてに委員を配置できるようになりました。

委員数が新たに１人から２人に増えたのは、財政金融、経済産業、環境の各委員会と、地方・消費者問題、ＯＤＡの両特別委員会。委員数の増により質問時間も大幅に増えます。

９つの委員会で理事に就任。予算委員会では１２年ぶりに理事を確保しました。

安倍政権の暴走に立ち向かい、国民の要求を実現する論戦を展開する上でも新たな足場を築くものです。

比例代表選挙で日本共産党は601万票（得票率10.7%）を獲得し、市田忠義、田村智子両副委員長、大門実紀史＝いずれも現＝、岩渕友、武田良介＝ともに新＝の各氏が当選しました。得票数は、前回2013年の約515万票を超え、参院選としては、1998年（約819万票）に次ぐ党史上2番目となりました。

また、日本共産党は東京選挙区（改選数6）で、山添拓氏＝新＝が初当選し、前回2013年に続いて議席を獲得しました。

日本共産党「携帯ページ」

いま、おすすめしています「しんぶん赤旗」
日刊●月3,497円／日曜版●月823円

子どもの医療費助成、所得制限を撤廃せず

第２回定例議会で、子どもの医療費助成などを決めている「医療福祉費支給に関する条例」が一部改正されました。県が所得制限を緩和することに合わせて当市の所得制限も今年１０月から緩和されます。しかし、県内多くの自治体（４４市町村のうち３４市町村）が所得制限を撤廃しているのに、当市はあいかわらず所得制限を続けます。

日本共産党の金子卓議員は、「医療福祉費支給の所得制限の対象とならない世帯が前の８７％から９７・２％に１０．５％増えたとの説明がありましたが、人口減少対策、定住促進対策のためには所得制限は撤廃すべき。所得制限のある市といつまでも言われる」と撤廃を求めました。

今回の条例改正により、母子および父子のひとり親世帯も市単独補助の１日６００円の外来医療費肩代わりが受けられることになりました。この問題は、昨年の１０月から外来医療費助成が中学３年までに拡大され、市の肩代わりもおこなわれましたが、ひとり親世帯は対象にならず、関係者から改善するよう指摘を受けていたものです。

第３回定例議会は８月３０日（火）開会です

請願・陳情は８月２３日（火）までに。

日本共産党
常陸大宮市議会報告
2016年 8月 第39号 発行／日本共産党常陸大宮市議

金子 卓（常陸大宮市岩崎272-4）
☎ 0295(52)2422

一般質問

市議会のホームページで一般質問の録画が見られます

金子卓議員
6月16日に質問

市内産農産物の販売状況を質問

道の駅「常陸大宮」の市内産農産物の販売状況を質問します。

経済建設部長答弁　オープンから5月末日までの総売り上げは約2億1400万円でそのうち農産物の売り上げは約7400万円、集荷部会（市内農産物）の売り上げは約4000万円で農産物売り上げの54％となっています。また、出荷部会員は5月末現在で197人が登録されており、出荷実績のある人数は149人です。

金子議員再質問

道の駅「常陸大宮」の出荷量が増えた分だけ、市内農産物直売所の売り上げが減ったのでは困ります。

市内3ヵ所の直売所の昨年度の4月と今年度の4月の比較を質問します。

経済建設部長答弁　「大宮グリーンハウス」の売り上げは約600万円で昨年4月度比97・8％、「北斗星」が約760万円で96・8％、「かざぐるま」が約410万円で95・2％です。

金子議員再質問

道の駅「常陸大宮」を運営している「元気な街づくり格式会社」の運営方針ですが、「道の駅」基本計画で、農産物直売施設では「農産物については地元産及び隣接地域の野菜などの直売を基本とします」とありますが、確認します。

市長答弁　安全安心な地元農産物、地域特産品の販売を通じまして、市の魅力を発信することで、地域の農業振興や商工業の発展に貢献できるよう指導・監督していきたいと考えています。

道の駅「常陸大宮」は、7月25日30万人（レジ通過者）達成。

御前山総合支所の耐震化工事

総合支所建物は震災で被災し使えなくなったもので、直して使えるようにしてほしいという地元の方の大きな総意があります。

現在の分散業務は異常です。また、御前山総合支所は那珂川の洪水も配慮し、高いところにつくられました。他の総合支所とは違いがあります。福祉避難所の指定が外されてしまったことも市民サービスの低下です。

耐震補強工事をおこなうことが御前山区民の総意に答えることと思います。市長の答弁を求めます。

市長答弁　大変くるしい検討を重ねているところです。もう少し時間をもらえればと思っています。

1869名の署名を大変重く受け止めていることは今でも変わりありません。

各種健（検）診の受診場所

年1回の各種健（検）診けん診は、市民の健康増進のために大変重要であり、その受診率のアップが大きな課題となっています。先日、市民の方から、今年の受診場所が近くの公民館分館でなく「かがやき」に変わった。これでは車で行かなければ受診できないと苦情が寄せられました。調べてみましたら、受診場所は年々減少し、特に今年は大きく減らされています。これは、受診率アップには決してつながらず、市民の健康増進という目的に反するものと考えます。

受診場所数の推移と減少している理由を質問します。

保健福祉部長答弁　住民健診の受診会場は平成24年度以降、21から22会場で推移していましたが、昨年度は20会場、本年度は15会場となっています。これは、前年度の受診実績により、会場数・受診日数を市と健診事業委託者両者で協議して設定したものですが、同規模の市町村に比べますと多目の設定となっています。また、今年度より、市独自で心電図検査を追加しましたが、スペース的に対応できないという会場もあります。

金子議員　今年はそういうことで決まってしまいましたが、受診率がどうなるか注視し、また改めてこの問題は質問していきたいと思います。

小中学校普通教室へのエアコン設置

小中学校普通教室へのエアコン設置は、若いお母さん方の強い願いです。大子町では、児童生徒の健康への影響や学習環境の向上を考え、町内全ての小中学校の各普通教室への空調設備を設置しました。

また、常陸太田市長も昨年9月議会の一般質問で、「エアコン設置は今後やっていく必要があると判断しています。幼稚園の遊戯室にエアコン設置を進めてきましたが、その先の段階として小中学校のエアコン設置を進めていくことで検討していきたい」と答えています。

次期総合計画策定が始まったこの時期、改めて小中学校へのエアコン設置の考えを質問します。

教育部長答弁　近年地球温暖化による猛暑も予想されることから、昨年7月から9月にかけ、各学校の普通教室において統一した基準を設け、室温の測定を実施しました。その結果、全体的に見ると30℃を超えた日数は、いずれも午後の時間帯で最上階の教室で、7月が7日間、9月が3日間という測定結果です。今後も、各学校の普通教室の室温測定を実施し、今後の対応について検討していきたいと考えています。

その他の質問項目

■市創生総合戦略「公共交通維持活性化事業」について

第2回定例議会（6月議会）は6月7日（火）に開会しました。

初日、専決処分された議案2件の採決がありました。ひとつは、平成28年度分から国民健康保険税の課税限度額を4万円（国民健康保険の課税限度額を52万円から54万円に、後期高齢者医療課税限度額を17万円から19万円に）引き上げるもので、日本共産党の金子議員は「ますます高額の負担を強いるもので、被保険者同士のやりくりはとうに限界。国庫支出金の大幅増額を強く求める」と反対しました。

もうひとつは、地方税法にも「異議申し立て」をなくし審査請求にして不服の権利を縮小する内容のもので、この議案にも反対しました。

また、美和小学校屋内運動場改築工事請負契約議決の議案が提出され可決されました。一般競争入札による契約で（株）進栄が落札、金額は1億9958万4千円です。鉄骨造（2階建て）で建築面積は649．21㎡（渡り廊下含む）で、工期は平成29年3月15日です。

議会最終日の6月21日、各常任委員長が条例改正・補正予算・陳情の審査結果の報告、採決しました。

日本共産党の金子議員は、マイナンバーの利用対象事務を拡大する「個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例」と、証明書コンビニ交付事業の経費が計上されている一般会計補正予算に反対しました。

美和・緒川平和の会から提出された「憲法違反の戦争法（安保法制）の廃止を求める意見書提出を求める陳情書」は、金子議員・大貫議員の2人が賛成しました。しかし、賛成少数で不採択となりました。

仕事・くらしの悩み
お気軽に相談を

日本共産党
連絡先　ケータイ
金子すぐる議員
090-1994-7696